

2024年コロラド安全対策連絡協議会

最近の治安情勢

2024年9月27日

在デンバー日本国総領事館

TABLE OF CONTENTS

- 01 コロラド州の治安情勢
- 02 具体的な犯罪事例
- 03 被害に遭わないためのポイント
- 04 まとめ

01

コロラド州の治安情勢

コロラド州の犯罪件数はコロナ禍後から増加していましたが、2023年は人口は増加した一方で暴力犯罪（殺人、強姦性交、加重暴行、強盗）及び財産犯罪（窃盗、侵入盗、自動車盗）ともに全米と同様に一旦の減少傾向となり、犯罪件数は前年と比較して約8%減少しました。

しかしながら、コロラド州の犯罪率を全米と比較すると依然として高い数字となっており、引き続き、犯罪に巻き込まれないための日頃からの安全対策が重要であると言えます。

コロラド州では過去10年間に61件の銃乱射事件が発生し、82人が死亡、246人が負傷しました。2024年もすでに数件の銃撃事件で死傷者が発生しています。

今後、11月のThanksgiving Day、12月のクリスマス等のホリデーシーズンには人出が多くなります。銃撃事件は特に人の多く集まる場所やイベントで発生する傾向にありますのでお出掛けの際は周囲の状況に十分に注意してください。

02

具体的な犯罪事例

【特殊詐欺】

米国内の他公館に実際にあった通報



犯行の手順①

銀行やカード会社の職員を名乗る者から、電話で「あなたのクレジットカードが犯罪に使用されている。このままでは口座は凍結され、最悪の場合はあなたは刑務所に行くことになる」などと脅され、潔白を晴らすためのポリスレポートを取得するために警察に電話を転送すると告げられる。



犯行の手順②

転送先の警察官を名乗る者から、実在する警察署のホームページを検索するよう指示され、電話番号を確認させられた後、「一度電話を切るが、同じ番号から電話を掛ける」と説明を受け、実在する警察署の電話番号を偽装表示した電話から着信を受けることで信用させられてしてしまう。



02 具体的な犯罪事例

犯行の手順③

レポート作成のためとビデオ通話に誘導され、ビデオ内で偽造の警察バッジやIDを見せられることで、さらに信用させられた後、個人情報（住所、ID画像、パスポート画像）等を求められる。

その後、新たな事実が判明したため逮捕される等とほのめかされたり、恫喝されるなどして心理的動揺や正常な判断力を奪われ、逮捕を遅らせるための保釈金として国際送金サービスを介した送金を要求される。



犯行の手順④

あなたは容疑者なので監視等が必要と理由を付けられ、送金までの間ビデオ通話の継続などを指示（他人に相談できないよう監視）される。

また「捜査は極秘のため、通話を切ったり、他者に相談した場合は即逮捕となる。」等と脅し、他人に相談できない状況を作ると同時に頼れるのは警察（偽）しかいないと洗脳され、判断力が鈍った状況で金銭を騙し取られる。



03 被害に遭わないためのポイント

 警察を含めた捜査機関は下記のようなことは **絶対** に言いません。

- 口座番号を尋ねること
- スカイプ等のビデオ通話をする事
- 電話で「あなたの口座は犯罪者（テロリスト）によって使用された」等と言うこと

相手から「口座が犯罪に利用された」「口座がテロリストに利用された」「必要なお金を支払わなければ、口座は凍結される」などと言われた場合には **「詐欺」** であると **確信** し、 **通話を切る** ようにしてください。

 電話を受け、少しでも上記のような発言があったり、不審に感じた場合には、 **ご家族やご友人、警察等に相談** するとともに当館にもご連絡、ご相談ください。

 治安当局によれば、詐欺グループはターゲットを絞らずランダムに電話を掛けているのが大半であるとし、中にはSNSを利用して個人情報調べた上で電話を掛けているケースも報告されているとのこと。また、被害者は英語があまり得意でない（言い返せない）人が狙われる傾向があるとしています。

04

まとめ

今回は具体的な犯罪事例とその対策についてご紹介いたしました。
本事例以外にも、当館にて相談を受けた事例として、
インターネットオークションに関連し、州税の支払いを暗号通貨で払ってほしいと言われた事例などもあります。

詐欺グループは役割分担し訓練を行っていると思われ、犯罪の手法は益々巧妙かつ複雑化し、
一見して本当かと信じてしまいかねません。
それらの手口に騙されないよう、日頃からニュースやインターネット等で情報収集に努めていただき、
キーワードとなる犯人の言動を見極めることがポイントとなります。

また、詐欺を行う者は心理的な動揺を誘うよう試みてきますので、電話等を続けることは非常に危険です。
一度電話を切り、すぐに身近な人や警察に相談することが被害の防止となります。

(参考：在ニューヨーク総領事館HP https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00921.html)

どうか皆様が安全に過ごせますよう、ご参考にしていただければ幸いです。